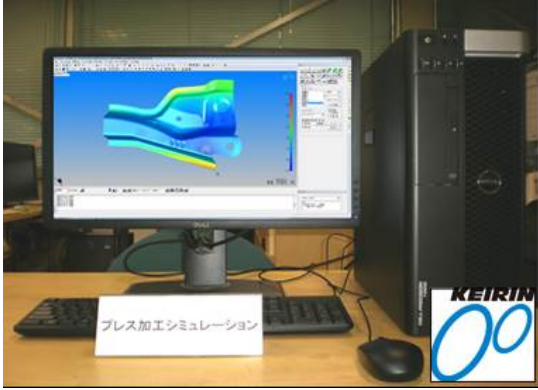


事業者名	地方独立行政法人 北海道総合研究機構								
機器名	EMI測定システム								
機器写真									
特徴・用途	組込み制御機器や、各種電子・電気機器から発生する、不要な電磁ノイズ量を、国際的に定められた方法での測定								
設置場所	産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	7	0	0	1	4	2	4	7
	H 25年2月	5	0	0	2	37	3	0	5
	H 25年3月	6	0	0	3	35	3	0	6
	H 25年4月	4	0	0	1	10	0	3	4
	H 25年5月	4	0	0	1	12	0	3	4
	H 25年6月	7	0	1	3	30	0	2	6
	H 25年7月	4	0	0	1	15	0	3	4
	H 25年8月	3	0	0	1	3	0	2	3
	H 25年9月	4	0	0	1	8	1	2	4
	H 25年10月	3	0	0	1	8	0	2	3
	H 25年11月	1	0	0	0	0	1	0	1
H 25年12月	8	0	0	3	14	5	0	8	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・機器が最新のものとなり、測定時間が大幅に短縮され、また測定の信頼性が向上した。 ・測定器の操作性が向上した。 ・北海道で、最終規格に基づく試験が行えるようになったため、他県に行く必要が無くなった(最終的な認証試験が実施できるようになると、なお良い)。 ・製品の開発途中で試験を実施できるため、電磁ノイズ対策を効率的に実施できるようになった。 								
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの札幌近郊の組込み機器メーカーが、新製品開発時のEMC試験を当场で行っている。 <p>【用語説明】 EMC(電磁環境両立性)とは、電磁ノイズが多数存在する中で、互いに影響を及ぼさないために電子機器に求められる性質(特性)を指す。このためには、電子機器が放出する電磁ノイズ量が一定基準値以下である事が求められる。本システムは定められた方法で電磁ノイズ量を測定するために使用する。</p>								
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-016koho.pdf								

事業者名	地方独立行政法人 北海道総合研究機構								
機器名	熱伝導率測定装置								
機器写真									
特徴・用途	ガラスウール、真空断熱材等の断熱材の熱伝導率の測定								
設置場所	産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	7	1	0	1	6	0	2	4
	H 25年2月	0	0	0	0	0	0	0	0
	H 25年3月	0	0	0	0	0	0	0	0
	H 25年4月	2	2	0	0	0	0	0	2
	H 25年5月	3	2	0	0	1	7	0	3
	H 25年6月	1	1	0	0	0	0	0	1
	H 25年7月	1	1	0	0	0	0	0	1
	H 25年8月	2	2	0	0	0	0	0	2
	H 25年9月	4	4	0	0	0	0	0	4
	H 25年10月	0	0	0	0	0	0	0	0
	H 25年11月	2	2	0	0	0	0	0	2
H 25年12月	3	0	0	0	0	0	0	2	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・容易な操作で良質なデータが得られる。 ・いままで遠方の試験機関で測定を行っていたが、今後必要があれば当场で試験を行いたい。 								
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道内で施工される一定規模以上の道路用トンネル工事においては、地下水の凍結によるコンクリートの剥離・脱落を防止するため断熱材の現場施工が行われており、そのほぼ全数が当场で性能確認試験を行っている。結果、インフラの信頼性・安全性確保に寄与している。 ・北海道内で数社が建築用や食品保存用容器の断熱材開発を行っており、性能試験に使用されている。 								
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-016koho.pdf								

事業者名	地方独立行政法人 北海道総合研究機構								
機器名	プレス加工シミュレーション								
機器写真									
特徴・用途	金属材料のプレス成形において、金型を製作し実際に加工することなく、パソコン上で加工結果をシミュレートする。								
設置場所	産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	12	0	1	0	0	0	6	7
	H 25年2月	10	0	1	0	0	0	5	6
	H 25年3月	10	0	0	0	0	0	5	5
	H 25年4月	3	0	0	0	0	0	1	1
	H 25年5月	14	0	0	0	0	0	7	7
	H 25年6月	12	0	0	0	0	0	6	6
	H 25年7月	10	0	0	0	0	0	5	5
	H 25年8月	9	0	0	0	0	0	3	3
	H 25年9月	12	0	0	0	0	0	6	6
	H 25年10月	6	0	0	0	0	0	3	3
	H 25年11月	10	0	0	0	0	0	5	5
H 25年12月	2	0	0	0	0	0	1	1	
研究開発事例等	・工業試験場の研究成果発表会や北海道プレス加工研究会において設備の紹介を行うなど、普及に努めている。								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-016koho.pdf								